

業務完了報告書

【テーマ】 在宅医療との連携と、多職種協働による医療ニーズのある利用者支援の研修の実施

【申請者】 柏 範和

【所属機関】 (社)大阪介護支援専門員協会高槻・島本支部

【職名】 会長

【所在地】 大阪府高槻市北柳川町15-18

【提出年月日】 平成23年2月26日

<平成22年>

研修会①

日時：5月23日(日) 14:30～16:00

テーマ：公開講座『利用者の声は届いていますか？ ケアマネさん』

～ICF、アセスメント、認知症・脳梗塞・ALS患者の事例を参考に～

実施状況：講師による講義、質疑応答、アンケート調査、集計・まとめ実施。

事例から「利用者の声」を基点に、インフォーマル・サービス、地域力の活用、社会資源の開発の重要性をあらためて認識したとの声が、参加者から多く聞かれた。

研修会②

日時：6月17日(木) 18:30～20:30

テーマ：勉強会(第一回) 医療との連携講座①『在宅医・訪問看護師との連携』

実施状況等：ケアマネジャー同士がグループワーク(カードワーク)にて、テーマについて意見交換・まとめ、グループ毎に発表した。

訪問看護師との連携についてケアマネジャー同士で理解を深め、また疑問点等を言語化し、次の訪問看護師との合同研修へ先鞭をつけた。

研修会③(共催)

日時：7月17日(土) 14:00～16:00

テーマ：『ケアマネジャー・訪問看護師の交流・勉強会』

実施状況等：訪問看護師による講義、ケアマネジャーと訪問看護師によるグループワークとその内容の発表、意見交換、アンケート調査、集計・まとめ実施。

両職種間の連携について、カンファレンスの重要性からケアプランと訪問看護計画書の整合性や、かかりつけ医との連携の具体にまで及ぶ活発な意見交換ができた。

研修会④(共催)

日 時：7月24日（土）14：00～16：00

テーマ：『在宅の「み」』～在宅医・訪問看護師・ケアマネジャー等の参加型勉強会～

実施状況等：在宅医、訪問看護師、ケアマネジャー等により事例（シナリオ）に基づいたロールプレイ、ロールプレイ後参加者全員で意見交換・振り返り、アンケート調査、集計・まとめ実施。

研修会⑤

日 時：9月16日（木）18：30～20：30

テーマ：勉強会（第二回） 医療との連携講座②『病院・MSWとの連携』

実施状況等：病院勤務のMSWによる、主に利用者の退院時の病院担当医、かかりつけ医、訪問看護等をケアマネジャーとMSWの協働により調整する重要性、その具体的な方法等の講義と、MSW、ケアマネジャーとでグループ・ディスカッション、その内容の発表等を実施。アンケート調査、集計を実施。

研修会⑥

日 時：11月18日（木）18：30～20：30

テーマ：勉強会（第三回） 多職種との連携講座①『ヘルパーとの連携』

実施状況：ケアマネジャーとホームヘルパーによる勉強会。ホームヘルパーから、精神疾患のある利用者等の事例発表を行い、それらの事例を基にケアマネジャー・ホームヘルパー間でグループ・ディスカッションとその内容の発表等を実施。相互に医療ニーズのある利用者の在宅生活の支援、連携について理解を深めた。アンケート調査、集計等実施。

<平成23年>

研修会⑦

日 時：2月17日（木）18：30～20：30

テーマ：勉強会（第四回） 多職種との連携講座②『地域包括支援センターとの連携』

実施状況等：高槻市の地域包括支援センターから主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師の三職種を講師として招き、それぞれの専門職の立場からの活動の実際、地域での取り組みの内容等について聴講。その後、地域包括支援センター職員とケアマネジャーでグループ・ワークを実施。参加者が日々ケアマネジメントを実践するなかで遭遇する、認知症や精神疾患のある利用者、胃瘻等の医療ニーズのある利用者を支援するうえで困難に感じているケースなどを話題に、そこから多職種での援助の必要性、かかりつけ医との連携の重要性、専門職同士のカンファレンスによるピア・カウンセリングとしての効用～意欲の維持向上等、幅広く意見交換できた。

研修会・勉強会を実施しての感想等

一年近くに渡り、ケアマネジャーに対する在宅医療の研修を実施したが、前半はまず公開講座において、医療ニーズのある利用者支援を事例に、ケアマネジャーの相談援助職としての基本的な姿勢や知識・技術に関しあらためて学びを深め、ケアマネジャーとしての「立ち位置」を再確認できたことは、その後在宅医療との連携の研修を進めるにあたり、ちょうどよいイントロダクションとして機能し、一年を振り返ったときに、非常に幸せなことだったのではないかと感じている。

続いてケアマネジャー間で訪問看護について学び直し、そこで得た問題意識等を携え訪問看護師との共同研修に臨み、そこでの成果をケアマネジャー、訪問看護師、在宅医等々との参加型勉強会を経てさらに確かなものにできたことは、今回の研修事業のハイライトであったと思う。

後半は、主に退院患者の在宅復帰に際しての医療ソーシャルワーカーらとの連携について学んだあと、医療ニーズのある利用者を支援するにあたっては、医療職以外の多くの職種との連携も重要ではないかと考え、これをテーマにホームヘルパー、地域包括支援センターの3職種と、利用者の在宅支援について意見交換等を行った。

ケアマネジャーとしてそれぞれの職種と連携するにあたっての理解を深めた一方、在宅医療・介護の推進にはかかりつけ医・訪問看護師らと各種介護サービス等の有機的な連携が今後ますます重要となると予測されるため、今後はケアマネジャーやその他の福祉職、医療職、介護職ら複数の職種が複雑に合間見えるような勉強会が実施できればよいのではないかと感じた。

全ての研修会を終え痛感しているのは、参加者、講師、共同研究者等々、まことに人によって支えられてこそ実現できた事業であったということである。本研修事業実施にご協力、ご参画いただいたすべての皆様に深く感謝いたします。

また、このような機会を与えていただいた貴財団に心から感謝を申し上げます。

「公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成による」

大阪介護支援専門員協会「高槻・島本支部」からのお知らせ

公開講座を開催します！！

日時：H22年 5月23日(日) 14:30 ~ 16:00

場所：茨木市立男女共生センターローズWAM・5階(阪急・JR 茨木市駅近く)

講師：花園大学 社会福祉学科 福富 昌城 先生

(大阪府研修、日本介護支援専門員協会全国大会にて講演等、ケアマネジメントの著書多数)

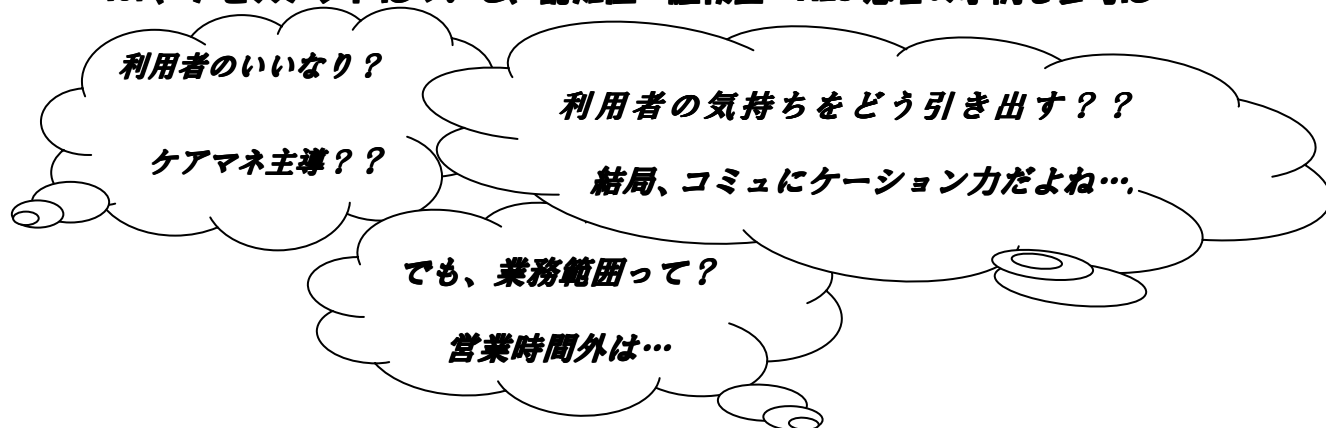


(在宅医療助成 勇美記念財団 助成事業)

「利用者の声は届いていますか？ ケアマネさん」

(テーマ:ケアマネジャーは単に「給付管理をする人」ではないはず。
相談援助専門職としての本来の役割を再確認し、そこへ立ち戻ろう！)

～ ICF、アセスメントについて、認知症・脳梗塞・ALS 患者の事例を参考に ～



○ 申し込み:下記申込欄にご記入のうえ、ご返信下さい。



大阪介護支援専門員協会 高槻・島本支部事務局

FAX) 072-695-7798 Eメール) care@hokusetsu-hp.jp

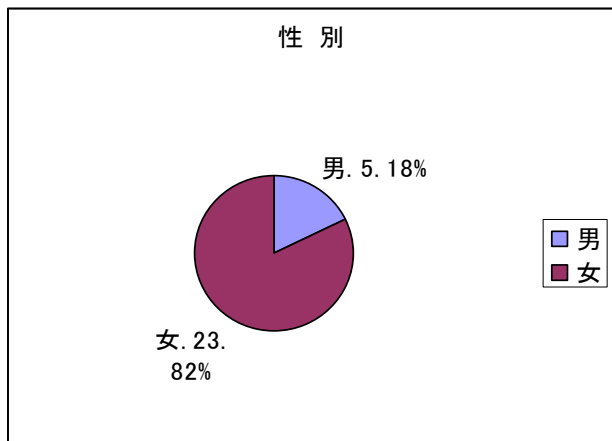
総会記念・公開講座 参加申し込み欄(fax用)

参加者氏名()事業所・TEL()

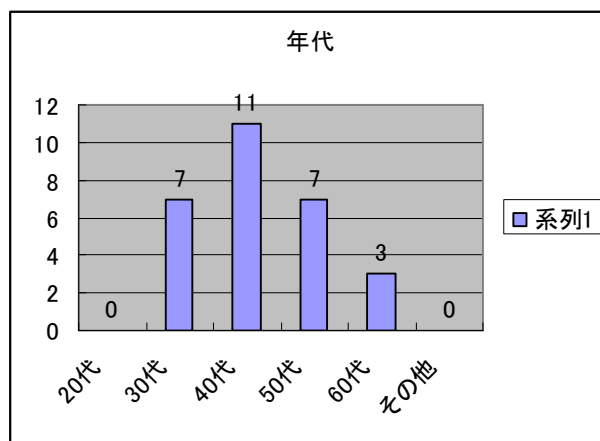
公開講座「利用者さんの声は届いていますか？ケアマネさん」

アンケート回答数 28名

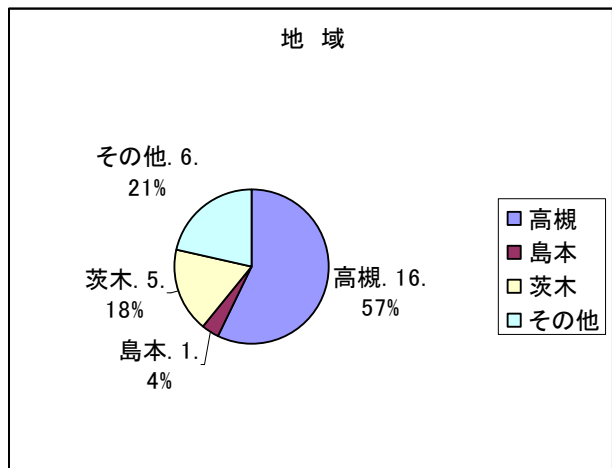
1. 性別



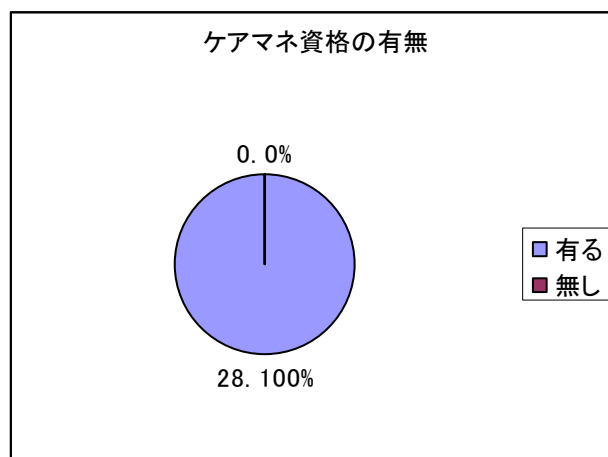
2. 年代



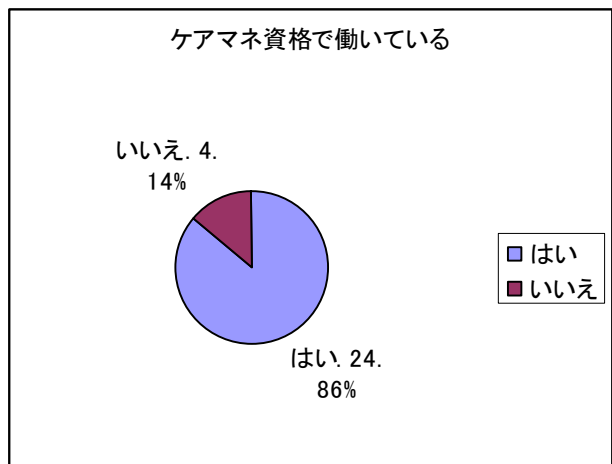
3. 地域



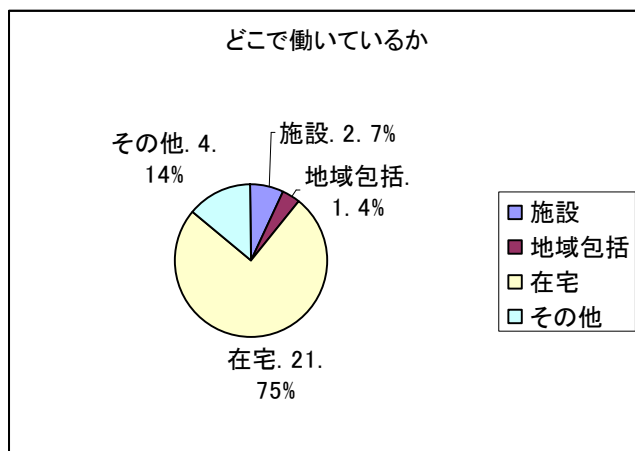
4. 資格の有無



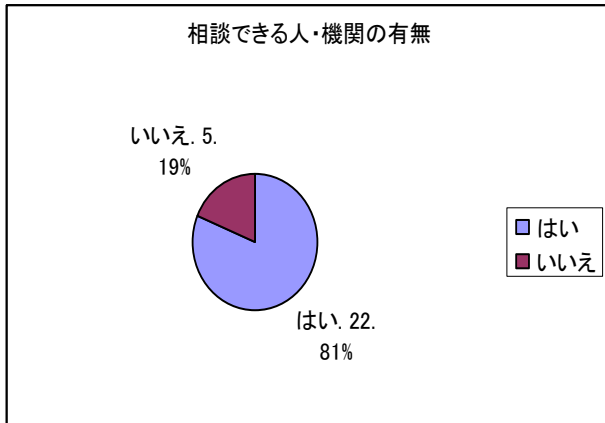
5. 資格で働いている



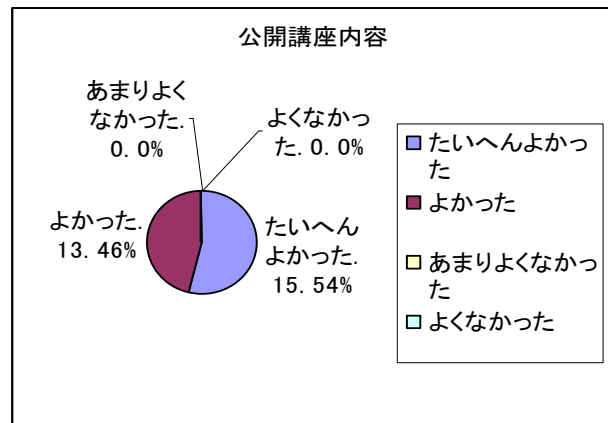
6. どこで働いているか



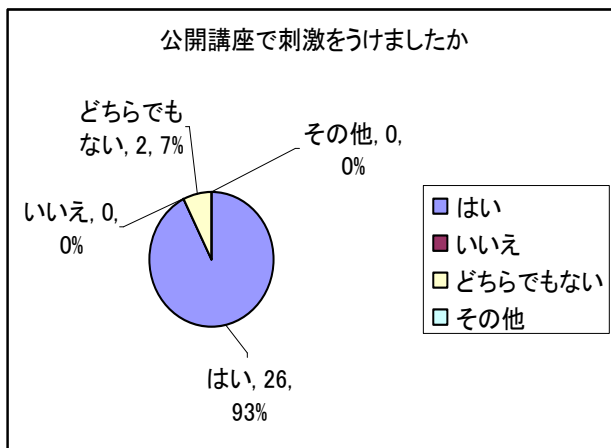
7. 相談できる人・機関の有無



8. 公開講座の内容について



9. 公開講座で刺激をうけたか



8. 公開講座の内容について（感想）

- ・仕事内容の振り返りができた。夢がもてた。
- ・事例を通してわかりやすい説明だったので勉強になった。
- ・インフォーマルなサポートをいかに巻き込むか。それがケアマネの腕の見せ所なのだと感じた。
- ・目先のことにとらわれず、長いスパンで先のことを予測し、かかわっていく必要があると感じた。
- ・具体的にどういう立場にたって、支援していけばいいかがわかった。日々の仕事に追われるとなかなかインフォーマル・サービスの調整まで手が回らないので気をつけたい。
- ・普段の仕事を振り返り、もっと「個人を知りたい」と思えてきました。当たり前のことですが、個別援助は個人を知ることから始まるということを思い出しました。
- ・面接スキルの重要性を再認識した。その人らしい生活をしてもらうためには重要なことだと思う。

9. 刺激を受けた内容

- ・利用者個人の希望・思いを受け止める力をつけたい。
- ・一人では困難でな調整も、地域のかや専門家のかを借りれば出来るかもしれないと思いました。
- ・その人の思いを中心に、どう支えるかということを書いて今後の仕事につなげようと思った。
- ・現在の課題や、こうなりたいという目標をしっかりとって、そのためのプロセスをどうしていくか、ど

うすれば目標へ向かえるのかを考え行動するということ。

- ・インフォーマルサービス、地域力について、をあらためて考えることができました。
- ・本人の楽しさへ関心を示し可能性を引き出せるようにするということ
- ・介護サービスにつなげることが仕事だと思っていたが、地域力、インフォーマル・サービスの利用も視野にいれていこうと思う。(しかし、労力がかかるために敬遠したいという気持ちも・・・)
- ・利用者の声を引きだしていきたい。

！！ 速報 ！！

社)大阪介護支援専門員協会 高槻・島本支部会員、ケアマネのみなさま



第1回・勉強会 開催のご案内！！



○ 日 時： 平成22年 6月17日(木)

18時30分～20時30分

○ 場 所：高槻市立生涯学習センター 第2会議室(高槻市役所 3階)

★

医療との連携講座 ①

(在宅医療助成 勇美記念財団 助成事業)

『在宅医・訪問看護師との連携』

<ケアマネの間で、在宅医・訪問看護師との関わりに悩む、という声はよく聞かれます>

例えば...

- 医師と看護師の間で連絡を取ってもらえない...
- “予防”の利用者に訪問看護を勧めたいけど行ってもらえる？
 - 訪問看護は「処置」がないと利用はムリ？
 - ヘルパーとの役割分担に迷う... などなど

いっしょに在宅医・訪問看護師に対するイメージ、利用についての疑問、成功例、失敗談等を共有しながら在宅医・訪問看護師との連携について理解を深めませんか

★

- 対 象：大阪介護支援専門員協会 高槻・島本支部会員のみなさま(無 料)
(当日、大阪介護支援専門員協会に入会される方は参加いただけます)
- 申し込み：準備の都合上、参加予定をお知らせ下さい。(tel,fax,E-mailいずれでも可)

◆

大阪介護支援専門員協会 高槻・島本支部事務局

TEL)072-695-5585 FAX)072-695-7798 Eメール) care@hokusetsu-hp.jp

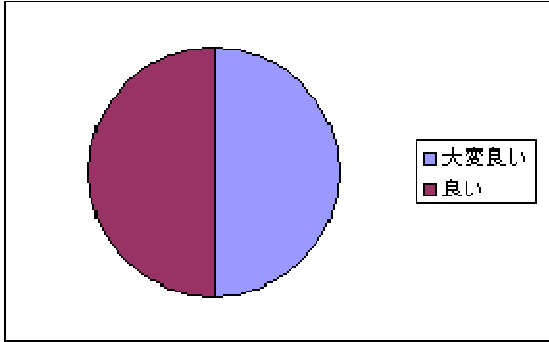
伝達講習・勉強会 参加申し込み欄(fax用)

参加者氏名 :

事業所・TEL :

1、今日の勉強会の内容について

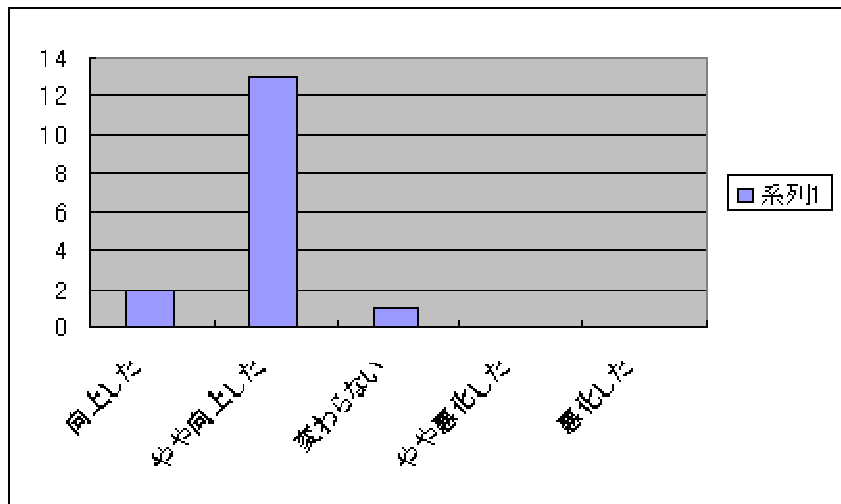
大変良い	良い	あまり良くない	よくない
8	8	0	0



話しやすかった。
 グループで色々話せて良かった。
 他のケアマネの意見が聞けて良かった。
 同じ事で悩んでいるのが分かった。
 色々なケアマネの意見が聞けて勉強になりました。
 分からない事が解決できて良かった。
 小グループで話しやすかった。
 視点が広がった。

2、勉強会に参加して、在宅医・訪問看護との連携等についての理解度は？

向上した	やや向上した	変わらない	やや悪化した	悪化した
2	13	1	0	0



新たな発見と中将自分の行なっている事の再確認が出来た。

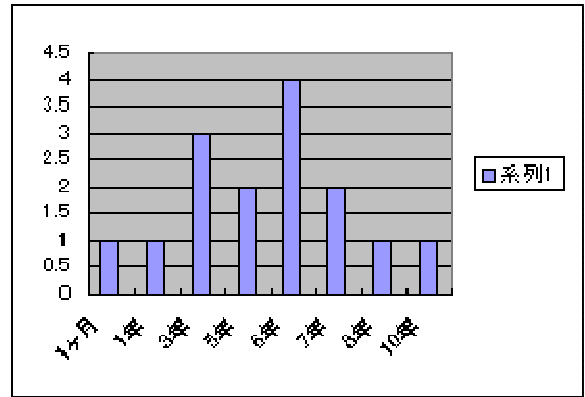
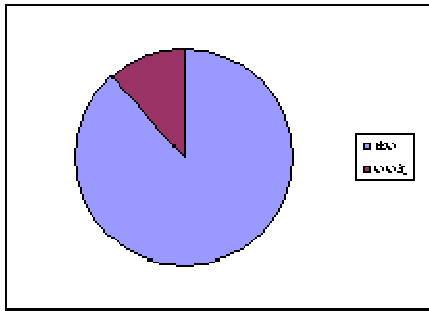
7月の研修会も楽しみにしています。

3、現在、実務をしていますか？

4、実務経験を教えてください。

はい	いいえ
15	2

1ヶ月	1年	3年	5年	6年	7年	8年	10年
1	1	3	2	4	2	1	1



5、基本資格を教えてください。

看護師	介護福祉士	ヘルパー	社会福祉士	リハビリ職	医師	その他
5	7	1	2			2

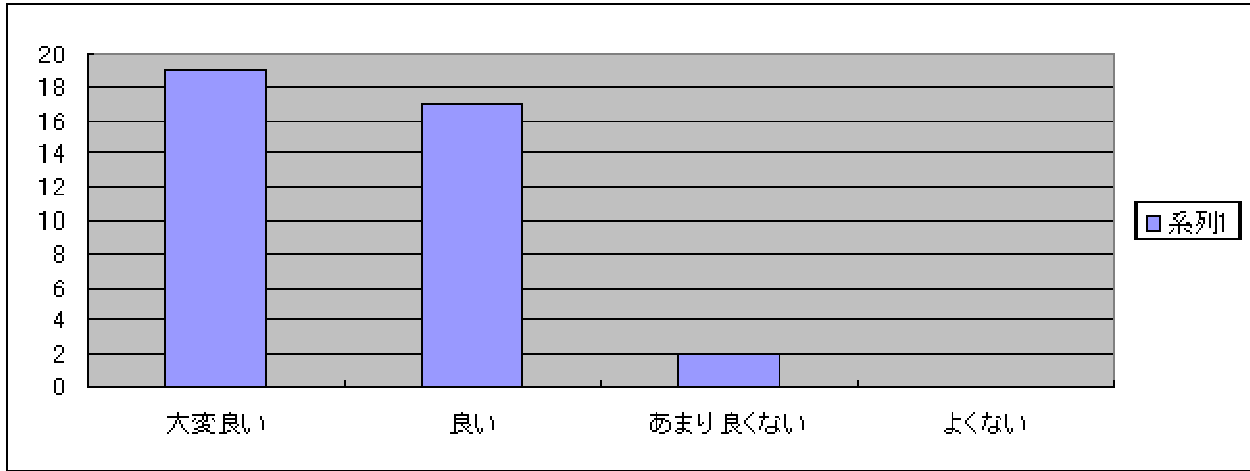
6、ケアマネ業務を行なう中、どういうことに難しさを感じますか？

- ・情報収集・ネットワーク作り・サービス事業所の特徴を把握すること。
- ・連携
- ・書類作りが多く、もっと訪問に時間を使いたい。
- ・主治医との連携
- ・独居の方のプラン
- ・認知症の方のショートステイ
- ・施設を探す(経済的に余裕の無い方・医療度の高い方・認知症)
- ・人間関係
- ・限られた時間での動き
- ・本人と家族間の想いの調整
- ・記録・事務作業が多く、時間がいくらあっても足りない。
- ・ケアマネはどこまですれば良いか
- ・それぞれ契約制度なのが理解できていない事業所が多い。
- ・利用者の方の意欲や持っている力を引き出せる様なプランを作るのが難しい。

訪問看護とケアマネジャーの勉強会・交流会アンケート【7月17日】

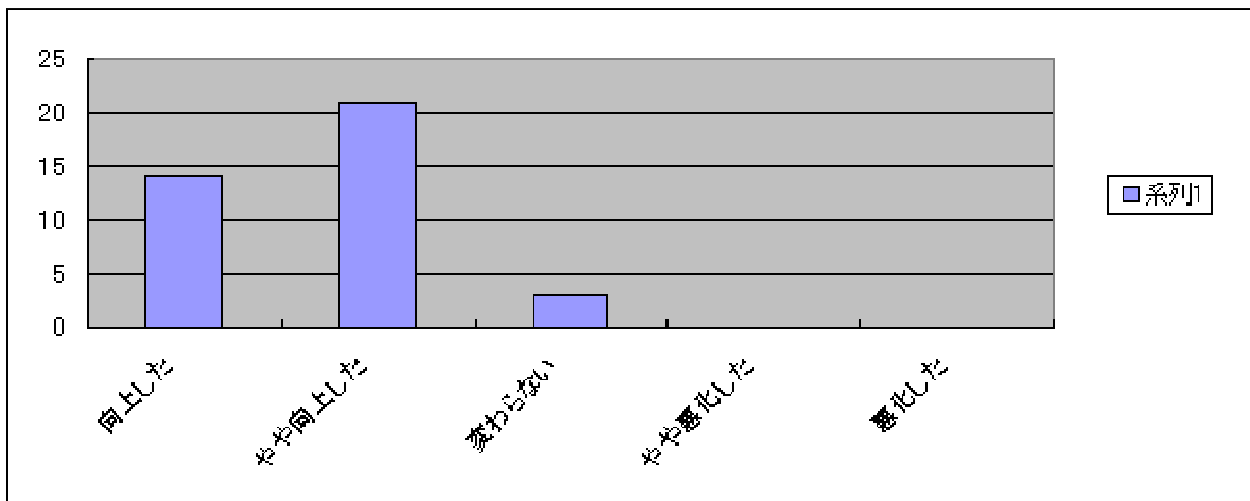
(ケアマネジャーの回答:抜粋)

1、今日の勉強会の内容について



- ・実際に顔を見て話せて良かった。
- ・訪問看護とケアマネがお互いに歩み寄り、利用者の問題解決を目指したいと思います。
- ・医療・福祉間の意見交換は初めてだったので、すごく有意義だった。
- ・近隣事業者との交流が出来てよい場であった。
- ・グループワークでは常に得るものが大きい。日頃接触の少ない医療職と話せるのであれば尚更。
- ・色々な方と意見交換が出来てよかった。
- ・普段思っている事や疑問点などの話し合いが出来てよかった。
- ・訪問看護の実情が聞けて良かった。
- ・発表された意見について返答もあり、言うだけに留まらなかったのが良かった。
- ・今後も継続して行なって欲しい。

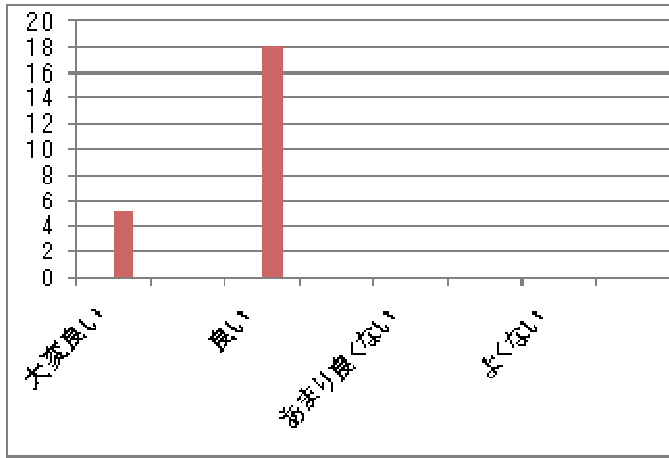
2、勉強会に参加して、在宅医・訪問看護との連携等についての理解度は？



- ・訪問看護・ケアマネの考えをお互いに交換できて良かった。
- ・今後更に密に連携をとっていこうと思った。
- ・予測をたててリスクを回避していかなければいけないと学んだ。
- ・連携が大切と再確認した。紙面に拘らずにとりあえず連携をとろうと思う。

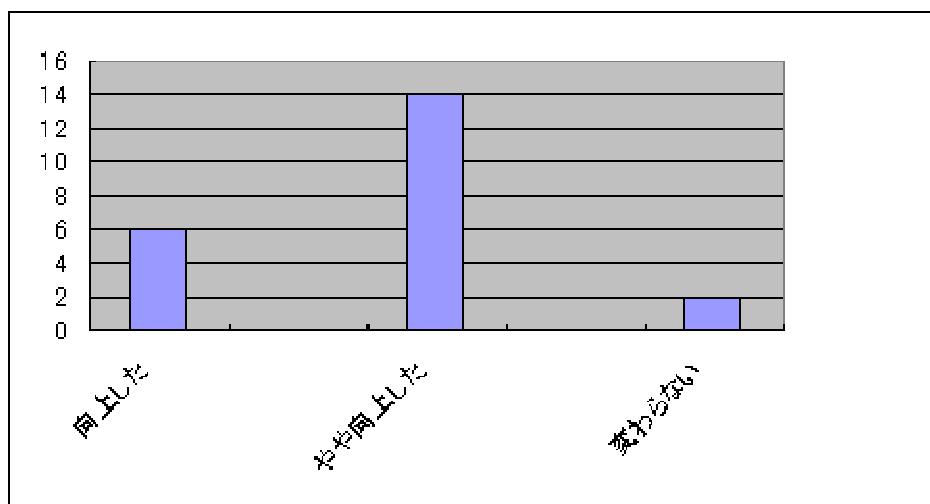
- ・併設訪問看護ステーションがあるのである程度分かっていたが、他の訪問看護の意見が聞けて良かった。
- ・時間が短く、全ての疑問を解決するのは難しかった。
- ・内容的には既に理解していた。グループに制度の理解をしていない方がいた。

1、今日の勉強会の内容について



- ・ケアマネさんの率直な意見と想いを聞くことが出来て良かった。
- ・お互いが多忙な業務を気遣って、声をかけにくい時が多い事が分かった。
- ・顔を見て話す事の大切さを感じた。
- ・意見交換をする事で、今後お互いが良い方向へ向い利用者により良いサービスが提供できるのではないかと感じた。
- ・ディスカッションで多様な意見が聞けて参考になった。

2、勉強会に参加して、在宅医・訪問看護との連携等についての理解度は？



- ・顔合わせになって良かった。
- ・2年後の医療・保険・介護保険の改正など今後更に変化が出てくると思う。
- ・お互いの立場がわかって良かった。
- ・ケアマネと訪問看護の認識の差を感じる事が出来て、今後の課題が明確になった。

4、訪問看護業務を行なう中で、どういうことに難しさを感じますか？

- ・ケアプランと訪問看護計画との整合性
- ・ケアマネジャーの利用者を想う気持
- ・医療機器の無い中での判断が難しいと感じる
- ・全て一人での判断
- ・訪問中のサービス内容と訪問時間の調整
- ・訪問して限られた時間の中で、状況・変化を把握する事
- ・訪問看護先での利用者の受け入れが悪い場合
- ・制度の混雑さ
- ・指示書をもらうまでの過程
- ・主治医との連携
- ・先を予測して対策を考えていく事
- ・訪問看護の必要性があると思うのに限度額オーバーの為に必要量は入れない。それによって把握しにくい事に不安を感じる。早く医療保険に移行できるようになって欲しい
- ・訪問看護を理解されていないケアマネとの関係
- ・ケアマネも含めて他の職種・機関と連携をとる事
- ・職種による意識の違い

5、ケアマネジャーとの連携において、どの様な事に難しさを感じますか？

- ・業務に追われる中で報告が抜けてしまい、ケアマネから催促されて戸惑った事がある。
- ・どこまで連絡し、お願いすればよいのかと悩む時がある。
- ・同じ目的意識を持っていないケアマネさんが時々いて、連携の難しさを感じる。
- ・福祉系のケアマネさんが多いせいか、看護師の考え方にズレを感じている方もいる様子。看護の優先度が低い時など、理解をしてもらうのに困る。
- ・体調変化時の延長or臨時訪問の必要性を理解して欲しい。
- ・ケアマネによってはたたいても響かない人もいる。
- ・医療保険や介護保険に関係なく行なうサービス提供の際は、利用者様を中心にして連携をとらなくてはならない。情報の共有化は難しい。
- ・勤務時間内にケアマネと連絡が取れない場合がある。
- ・福祉系のケアマネさんの場合、医療的な処置などの必要性のズレを感じる。
- ・医療依存度の高い利用者の場合、問題意識のズレがある場合も有り、すり合わせが必要。
- ・看護に対する苦情や要望の連絡になってしまうのか
調整で大変だと思うが、利用者さんが在宅生活を充実させていく為の医療・看護・介護の連携（情報共有）をしていけたらと思います。

6、本日の感想

- ・訪問看護も事業所によって対応が異なるのがわかって良かった。きっとケアマネも事業所によって異なるのだろう……。
- ・顔合わせになって良かった。
- ・もっとディスカッションをしたかった。
- ・ケアマネさんと交流でき、連携する難しさを感じました。利用者さんを取り巻く環境を含め、良くなる様に今後も努力していきたい。
- ・訪問看護とケアマネの想いの違う理由がわかってよかった。
- ・この様な連携の機会が定期的に欲しい。
- ・報告書の話が出来てよかった。
- ・ケアマネの立場からの考え方が聞けてよかった。
- ・本音の部分が聞け、活発な意見交換が出来て良かった。

！！速報！！

社)大阪介護支援専門員協会 高槻・島本支部会員、ケアマネのみなさま



第2回勉強会 開催のご案内！！



○ 日 時：平成22年 9月16日(木)

18時30分～20時30分

○ 場 所：高槻市立生涯学習センター 第2会議室(高槻市役所3階)

★

医療との連携講座 ②

(在宅医療助成 勇美記念財団 助成事業)

『 病院・MSWとの連携 』

介護保険制度と医療保険制度の両制度で、入退院時の連携が報酬の対象になるなど、ケアマネジャーと病院との連携が重要視されています。

普段やっていることを振り返りながら、よりよい『連携』のために何が 필요한のか…をMSWの方々と一緒に考えてみませんか？

*病院との連携において(入院時の情報提供等で)事業所で決まった様式があれば、よろしければご持参下さい。また、当日に話し合いたいと思われる議題などを提供して下さいますようお願いいたします。

★

○ 対 象：大阪介護支援専門員協会 高槻・島本支部会員のみなさま(無 料)
(当日、大阪介護支援専門員協会に入会される方は参加いただけます)

○ 申し込み：準備の都合上、9月3日までに参加予定をお知らせ下さい。(tel,fax,E-mailいずれでも可)

◆

大阪介護支援専門員協会 高槻・島本支部事務局

TEL)072-695-5585 FAX)072-695-7798 Eメール) care@hokusetsu-hp.jp

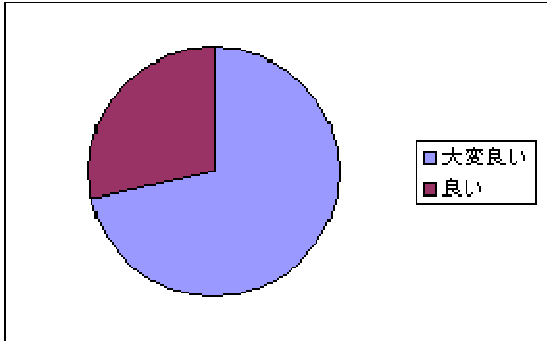
伝達講習・勉強会 参加申し込み欄(fax用)

参加者氏名 :

事業所・TEL :

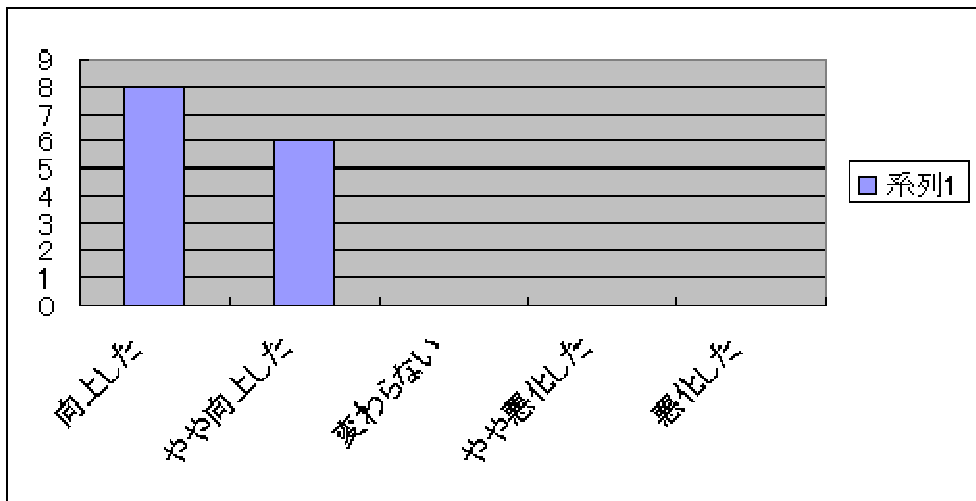
議題・質問等 :

1、今日の勉強会の内容について



- ・MSWからの要望がよくわかり、気をつけないといけないことがたくさんあるのだと痛感した。
- ・特に普段連絡とりにくいMSWの方に来ていただき、話が聞けたのでよかったです。
- ・自分たちの思いだけでいろいろなことを依頼していることが多い。反省する事が多くありました。
- ・訪看の指示書の依頼についてよい勉強となった。
- ・MSWからの連携のとり方に対する配慮をお聞きでき大変勉強になりました。
- ・連携しようという気持ちを持つ大切さが分かりました。
- ・直接MSWさんの意見が聞けて良い機会だった。
- ・とても教えてもらいたいことを聞けて勉強になりました。医療との連携がとりやすくなるように思えました。

2、勉強会に参加して、在宅医・訪問看護との連携等についての理解度は？



- ・具体的な連絡や実際のカンファレンスの流れが確認できわかりやすかったと思う。
- ・病院の性質により、連携の仕方が違うことを知った。
- ・MSWの方の悩みなどが直接聞くことができよかったです。
- ・MSWはDr.との調整が難しそうと感じました。
- ・ケアマネが利用者入院の時に病院に対して必要だと思う情報と病院がほしい情報には差異があることがわかった。
その調整ができることで互いの業務量も減少させることができる。
- ・どのような事にポイントを置いて連携をとれば良いのかが明確に分かってきた。

3、ケアマネ業務を行なう中、どういうことに難しさを感じますか？

- ・医療の連携
- ・信頼関係を築く事
- ・①認知症の一人暮らし②不隠の強い方のショート利用
- ・お互いの事を考えながら動かなければならない
- ・医療、障害の知識がないため、利用者に対して説明が難しい。
- ・介護保険適応にならないことが多すぎる
- ・CMIによっても、考え方が違うので統一できない
- ・かかりつけ医との連携をもっと積極的にしなければならない。
- ・書類作成が非常に多い
- ・書類の煩雑さ
- ・医療関係の方との連携方法、精神疾患の方への関わり方

!! 速報 !!

社)大阪介護支援専門員協会 高槻・島本支部会員、ケアマネのみなさま



第3回・勉強会 開催のご案内!!



多職種との連携講座 ①

(在宅医療助成 勇美記念財団 助成事業)

『 ホームヘルパーとの連携 』

○ 日 時： 平成22年 11月18日 (木)

18時30分～20時30分

○ 場 所：高槻市立生涯学習センター 研修室 (高槻市役所 3階)

★

～ケアマネと関わりの深いヘルパーさんだけど、あらためて聞きたい!?～

〈 テーマ 〉

- ヘルパーさんの、ケアマネジャーに対する想いは ?
- ヘルパー事業所内で、連携のとり方は ?
- 「自立支援」のために、どんな工夫 ?? などなど

〈 プログラム (予定) 〉

- (1) 事例発表 (ホームヘルパーから)
 - ・有償ボランティア・自立支援法の活用について等
- (2) グループ・ディスカッション (ケアマネ⇄ヘルパー)
- (3) 各グループから発表 (意見・情報等の共有)

★

- 対 象：大阪介護支援専門員協会 高槻・島本支部会員のみなさま (無 料)
(当日、大阪介護支援専門員協会に入会される方は参加いただけます)
- 申し込み：準備の都合上、参加予定をお知らせ下さい (11/16まで)

◆

大阪介護支援専門員協会 高槻・島本支部事務局まで (tel,fax,E-mail いずれでも可)
TEL)072-695-5585 FAX) 072-695-7798 Eメール) care@hokusetsu-hp.jp

伝達講習・勉強会 参加申し込み欄 (fax用)

参加者氏名 :

事業所・TEL :



第4回・勉強会 開催のご案内！！



多職種との連携講座 ②

(在宅医療助成 勇美記念財団 助成事業)

『 地域包括支援センターとの連携 』

○ 日 時： 平成23年 2月17日(木)

18時30分～20時30分

○ 場 所：高槻市立生涯学習センター 第二会議室(高槻市役所 3階)

★

〈 テーマ 〉

・地域包括支援センターの役割を再確認したい...

・どんな時に相談したらいいの...?

・精神疾患・虐待・困難事例など、どのように連携すればいいの...? などなど...

〈 プログラム 〉

(1) 地域包括支援センターの講師による講義

・富田地域包括支援センター 納部みどり 主任ケアマネジャー

・高槻北地域包括支援センター 田岡勝洋 主任ケアマネジャー

・高槻市中央包括支援センター 畠山栄美 社会福祉士

・阿武山地域包括支援センター 上床佳代 保健師

(2) グループ・ディスカッション(講師をまじえて)

(3) 各グループから発表(意見・情報等の共有)

★

○ 対 象：大阪介護支援専門員協会 高槻・島本支部会員(優先)
高槻市・島本町のケアマネジャー様、地域包括支援センター職員様

○ 申し込み：準備の都合上、参加予定をお知らせ下さい(2/15まで)



大阪介護支援専門員協会 高槻・島本支部事務局まで (tel,fax,E-mail いずれでも可)

TEL)072-695-5585 FAX)072-695-7798 Eメール) care@hokusetsu-hp.jp

勉強会 参加申し込み欄(fax用)

参加者氏名 :

事業所・TEL :